



●学校法人四條畷学園理事長
小谷 明

長期ビジョンを踏まえた 新中計がスタート

「早速ですが、今年度の第一次中計は3年前にの抱負、方針についてお話しただけですか。小谷 改元の年、学園では第二次中期計画(新中計)がスタートします。内環境の変化に備え、変外環境の変化に備え、変具体的に示す学園運営の指針となります。」

広報 × 教育改革

変化の時代を切り開く原点回帰と発信力

重要課題として取り組んできた看護学部開設は、長期かつ大きな投資になりましたが、完成年度を迎え学園全体の経営基盤の強化につながっています。

小谷 新中計も長期ビジョンを踏まえたものであり、基本的な方向性が大きく変わることはありません。ただ、18歳人口が減少に転じる2018年問題など、募集環境はさらに厳しさを増しているのも事実です。そういった中で昨年、問題意識、危機感の共有と教職員の意見の反映という目的で教職員アンケートを実施しました。特徴的だったのは、全学的な広報体制の強化に対する要望や意見が多かったことです。「教職員一人ひとりが広報マンであることを自覚することが重要」という全

員広報についての意見もありました。足もとの募集環境の厳しさに対する切実な危機感の表れであると受け止め、新中計でも「管理体制・財務基盤の強化」とともに、「募集力の維持・強化」を重要なテーマに、広報基盤の充実に努めていきたいと思います。また、「広報基盤の充実」「広報力の強化」についての具体策とは?

学園の魅力の掘り起しと時代に合わせての再形成を推進

重要になるのは発信する「コンテンツ」ですね。小谷 その通りです。ただ、コンテンツの源泉は、学園教育の特色である基礎教育・体験型・人間教育、そこから派生するアクティブラーニングといった現場が実践する教育以外にないと思っております。学習指導要領の改訂など、今後の大きな変化への対応を含め、今一度、学園教育の原点に立ち返った教育改革が求められているということを確認しなければなりません。今までの学園の在り方を否定するのではなく、無自覚的に実践していた学園の特色や、埋もれてい

た魅力を掘り起して発信する。もしくは、時代に合わせた再形成していくという取り組みを全学的に推進します。小谷 「Living in this town」ですね。ここに寄せられたメッセージを読むと、学園が地域の皆さんから愛され、なくてはならない教育機関であることが改めて実感させてもらいました。このことに誇りと自信を持ち、さらなる期待に込めていこう、一丸となって教育改革に取り組む、教育実践のレベルアップによる学園教

考え、「全学広報委員会」を新たに発足します。他学を見ても、厳しい募集環境下で健闘している学校は、例外なく広報を担当部署や担当者問題のみならず、教育現場を含めた組織全体の課題として捉えています。全員広報の意識を徹底させるとともに、内外のコミュニケーション戦略のベースとしてこの委員会を機能させ、コンテンツの掘り起し、最適な発信メディア・ツールの選定と作成を推し進め、募集力の強化につなげていきたいと思います。

四條畷学園保育園 2020年4月入園 申込み受付中

1歳児 平成30(2018)年4月2日～平成31(2019)年4月1日生まれ
2歳児 平成29(2017)年4月2日～平成30(2018)年4月1日生まれ

- 定員 19名(1歳児・2歳児)
- 種類 企業主導型保育園(居住地に関わらずご利用できます)
- 保育料 42,000円/月 ※所得に関わらず定額(2019年度実績)、その他実費相当のみ
- 時間 月～土 7:00～19:00 (休園:日・祝日、12/29～1/3)

見学・入園申込みは随時受付中!
(電話、Mailにて予約ください)

詳細はWEBサイトを参照ください。



Facebook





12月の園庭開放はいつもとは一味違います。そう！京都府宇治市の絵本と木のおもちゃの専門店「キッズいわきばふ」の前田さんがカタカタ人形・電車・ままごとセット・ドミノなど素敵な木製のおもちゃを幼稚園に持ってきてくれました。

静かに子どもたちを待つおもちゃたち。14時になり子どもたちがニコニコ顔で遊戯室の扉をくぐり、手に取って遊び始めた瞬間、静かだったおもちゃたちが輝き始めました。まさに！遊戯室いっぱい広がったおもちゃが子どもたちの手によって目覚めていきました。保護者の方も幼稚園の先生たちとおしゃべり(育児の相談)をしながらおもちゃで遊び、そして笑い、エビカニクスのリズム体操で体をほぐし、「イグアナレストラン」のパネルシアターを見て、楽しいひとときを過ごしました。

12月の園庭開放は “おもちゃライブラリー”



笑顔いっぱい！ 芋いっぱい！ 芋掘り



10月19日、秋晴れの天候のもと、年中児・年長児は芋掘りに出掛けました。公共のマナーを守って電車に乗り、寝屋川市の寝屋観光農園へ出発。JR星田駅に到着し、農園に向かっていると、畑の野菜を見て「あの葉っぱ何？」「柿の木やー！」と友だちと話をしながら楽しく体験を楽しみました。



歩いていました。農園に到着すると、家から持ってきたスコップを手に、張り切って芋掘り始めました。なかなか芋が見えず、苦戦していた子どもたち。先生の手を少し借りながら掘っていくと「芋でできたー！」と、喜びながら収穫しました。幼稚園でお留守番をしていた年少児は、屋上菜園で芋掘り体験を楽しみました。

歌って踊って、決めポーズ！ 運動会



10月13日は楽しい運動会でした。年少児は首に大きな鈴を付け、頭には手作りのドラえもん・ドラミちゃんの帽子を被って、可愛く踊りました。年中児はキラキラテープを貼ったペットボトルのマラカスを持って踊り、

サンタさんありがとう クリスマス会

待ちに待ったクリスマス会！サンタさんが素だよ。みんなの優しい心がプレゼントの木の栄養実がたくさんできるんだ。お話を真剣に聞いた子どもたちは目をキラキラさせていました。その後ママバンド「ぶちみるく」の皆さんによる楽器の演奏会があり、一緒に歌を歌ったり、踊ったりして楽しんだ子どもたちは、サンタさんにもら



ったプレゼントを大切に持って帰りました。サンタさん、来年も長い子に



ニャンコスターの振り付けや、ひよっこはんの決めポーズを見せてくれました。年長児は太鼓の音に合わせて組立体操をし、みんなで力を合わせて二本橋をつくりました。組立体操の後には、ポンポ

んを持って「Y.M.C.A.」を歌いながら踊りました。園舎から見えていた年少児・年中児も年長児のまねをし、掛け声に合わせて一緒に盛り上がりました。

力いっぱいペタンコ！ もちつき

年少児・年中児の子どもたちが「よいしょー！よいしょー！」と大きな声で応援する中、年長児の子どもたちはしっかりと杵を持って、力強くお餅をつきました。その後、遊戯室に集まって、安倍川餅をのどに詰らせないように、ゆっくり

かんで食べました。子どもたちは「おいしょー！もっと食べたい！」と喜んでいました。

見て！聴いて！ 体操&音楽発表会

幼稚園の発表会は2日間かけて、体操と音楽の1年間の集大成を保護者の皆さまに見ていただきます。

体操発表会は高校体育館で行いました。年少児は「忍者」をテーマに、色々な忍術を使って子どもたちが成長していく様子を表現し、ブリッジ歩きを披露しました。年中児は、曲に合わせて、パラバルーンでボールを飛ばして花火を表現したり、王冠やメリゴーラウンドなどの技を見せたり、ブリッジ回転をしました。年長児は、全員で三点倒立から始まり、ブリッジ回転、側転、連続技、逆立ち歩きなどをし、「US

A」を踊りました。最後のあいさつは、息がぴったり合って、さすが年長児という感じでした。どの学年も一生懸命で、保護者の方から大きな拍手をいただきました。

音楽発表会は幼稚園遊戯室で開催。年少児はピアノと歌、年中児はピアノと合奏、年長児はピアノ・合奏そして、ハンドベルを演奏しました。遊戯室での発表は保護者の方との距離が近く、子どもたちは少し照れながらも集中して演奏していました。子どもたちの元気で一生懸命な様子に思わず、笑みがこぼれ、和やかな演奏会となりました。



体操発表会



音楽発表会

第4回秋祭り



秋は楽しいイベントがいっぱい!

10月27日に第4回秋祭りを開きました。昨年は雨の中の秋祭りでしたが、今年は朝方降った雨もすっかり上がり、計画通りに進めることができました。

10月27日に第4回秋祭りがとう「おいしいものを作ってくれる人、お店も大賑わいでした。先生とPTAが用事をこなして、一学期から計画を練り上げて、野菜を育てるなど長い期間をかけて準備を進めてきました。

いろいろな「感謝」の気持ち

「野菜を育ててくれた太陽や土や人にあります。」

3つのありがとう

「おいしいものを作ってくれた人、お店も大賑わいでした。先生とPTAが用事をこなして、一学期から計画を練り上げて、野菜を育てるなど長い期間をかけて準備を進めてきました。」

10月2日に体育会を開きました。台風の影響で平日開催となりましたが、多くの保護者や来賓の方にご来校いただき、いつもと同じように盛りあげました。

赤組団長の小林遼大君が「赤組の勝利に導いて、両組とも、心を一つにして、大きな声で応援してください。」と激励の言葉を述べ、大きな声で「アツくなろうぜ!」と叫びました。

競技も応援もみんなで熱く

児童会の係を中心に、6年生の大会を盛り上げました。



体育会

颯爽と元気に 大東市マラソン大会

11月18日、大東市の深北緑地で開催された「大東市マラソン2018」に、1、5、6年生の約100人が参加しました。

開会式と準備運動をした後、低・中・高学年の順でスタートです。マラソンといえども、子どもたちはスタートからダッシュ。応援する観客の間を颯爽と走り抜けていき



舞い上がれ、大空へ 模型飛行機

11月20日、模型飛行機会を開催しました。1、2年生は手投げグライダー、3年生以上は滑空時間を競い合いました。

1の飛行距離を競い合い、3年生以上は滑空時間を競い合いました。まず、クラスのチャンピオンを決め、その後、学年チャンピオンを決定します。

- もっともっと、模型飛行機を飛ばしたかったです。なぜかという、模型飛行機がすごく好きだからです。(1年女子)
●ときどきしました。だけど、模型飛行機を飛ばしたら、なんだかときどき止まりました。(1年女子)
●お友だちに「がんばれー」と言われ、勇気が持てました。ちょっとは飛ばせました。(1年男子)



素晴らしい歌声と合奏 音楽会

12月1日、音楽会を開催しました。児童向けと、保護者向けの2部構成でした。お友だちやお家の方にいい歌や合奏を届けたいという子どもたちの強い思いが、しっかり伝わって来ました。



保護者の方々の感想
プラスバンドスクール 大河ドラマを見ているので、テンション上がりました。素晴らしい歌声を聞かせてくれて感動しました。
1年生 入学して約8か月。こんなにも成長した顔で素晴らしい歌声を聞かせてくれて感動しました。
2年生 「村祭り」を楽しそうに披露していて、こちらも笑顔になりました。
3年生 初めてのリコーダーでしたが、テンポが速くてもよく揃っていたと思います。
4年生 かわいい時期を脱し、お兄ちゃん、お姉ちゃんになって、頼もしく感じました。
5年生 高音がきれいだし、細かいところもすくすくきれいでした。
6年生 きれいな歌声で、ずっと聞いていたい感じでした。

寒さも空腹も何のその たんれん遠足

2月2日は恒例のたんれん遠足でした。年末から駆け足訓練を続け、寒さに負けない体づくりをしてきた集大成となる遠足です。

この日は、天候に恵まれ、歩き続けるうちに体が温まってきました。低学年は広い深北緑地を、



Table with 2 columns: Grade (4, 5, 6, 7, 8, 9, 10) and Number of students (12, 15, 25, 24, 29, 17).

小学校入試説明会のご案内

5月28日(火)と9月5日(木)の2回の開催を予定しています。
学習参観 9:10~ 9:40 小学校校舎内
学校説明 9:50~11:00 短大清風学舎6階
参加ご希望の方は、小学校HPからお申し込み下さい。*スリッパをご持参下さい

るっと一周。休憩した広場では遊具の周りを元気いっぱい走り回っていました。中学年は約10キロの飯盛山のハイキングコースへ。今年はいつもの「竹林コース」が通れず、急坂の続く「七曲坂」を登り、尻池周辺であがった息を整えました。高学年は南野方面から「蟹ヶ坂」の林道へ。落ち葉を踏みしめながら約12キロ歩きました。子どもたちは、あまり訪れる機会のない冬山や冬の公園の自然観察を



●2018年度 私立・公立高校合格実績●

私立高校				
四條畷学園	専69 併12	同志社系 関西大系	1 7	
東大寺学園	1	立命館系	1	
西大和学園	7	帝塚山(奈良)	9	
洛南	1	奈良学園	1	
愛光学園	1	京都女子	2	
明星	5	桃山学院	6	
清風	3	近畿大学附属	16	
上宮	7	東海大仰星	2	
大阪桐蔭	8	常翔学園	7	
四天王寺	2	その他	24	
大阪国際大和田	10			

国公立高校				
府立高専	2	清水谷	2	
北野(文理学科)	1	牧野	3	
天王寺(文理学科)	7	市立東	7(理数2)	
大手前(文理学科)	1	市立	2	
四條畷(文理学科)	10	夕陽丘	1(音楽1)	
高津(文理学科)	1	南陽(京都)	2	
寝屋川	3	その他	6	

●2019年度 中学校入学試験結果●

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学定数
英数コース	105	70	65	108	99
英数発展コース	35	95	93	46	41
6年一貫コース	35	27	26	18	17
合計	175	192	184	172	157

○英数コースの合格者には英数発展・6年一貫コースよりの転科合格者を含む
 ○データには四條畷学園小学校より49名の内部進学者を含む

各種検定試験今年度結果 ※学外受験含まず

●2018年度(第1回～第3回) 漢字検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	5級	
7	36	38	31	11	

●2018年度(第1回～第3回) 英語検定 合格者数				
2級	準2級	3級	4級	
7	65	101	60	

●2018年度(第1回・第2回) 数学検定 合格者数				
準2級	3級	4級	5級	
8	27	8	15	



思い出を胸に 巣立った192人 第72回卒業式
 3月2日、第72回卒業式を行いました。式直前のクラス朝礼ではいつもと変わらないリラックスした表情の生徒たちでしたが、会場に入ると一転真剣な眼差しに。仲尾校長先生から卒業生192人に卒業証書が手渡されました。生徒たちから大人への第一歩を踏み出すようとするゆりしさを感ずりました。

式後、中学校最後のクラスHRを終えた生徒たちは教職員全員に見送られて校舎を後にしました。各クラブの後輩たちは歌を歌ったり、胴上げをしたりして、卒業を祝っていました。賑やかで温か

い卒業の日となりました。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。学園中学校での思い出を胸に、更なる活躍を祈っています。ご来場いただきありがとうございました。誠にありがとうございました。



驚きと発見の一日 2年生社会見学
 2月8日、2年生が社会見学に行きました。生徒が主体となり、クラスごとに行き先や内容を考え、計画を立てました。今年が行き先は裁判所、海遊館、造幣局、食品会社、大阪市中央卸売市場、企業家ミュージアム。現地で実際に見たり、聞いたり、学校では学習できないような貴重な体験をしてきました。

どのクラスも驚きと発見の充実した一日となりました。



思い思いの シュプール描く 1・2年生スキー教室

12月20〜24日、長野県志賀高原で第49回スキー教室を行いました。1、2年生の希望者が参加する恒例行事です。今年参加者は109人。初心者から上級者までそれぞれの班に分かれ、プロのスキーコーチからレッスンを受けた。最終日の検定では少し緊張していた生徒たちも、検定が終わると楽しんで、思い思いのシュプールを描

いた。ホテルではスキーの話を楽しんだり、レクリエーション大会で

元気に山の中を 駆け回る 全学年耐寒オリエンテーリング
 12月5日、飯盛山で耐寒オリエンテーリングを行いました。班ごとに地図とコンパスを駆使して山の中に配置されている

ポストを制限時間内でするだけ多く探します。経過時間によっても順位が決まるため、どの班も高得点を目指して、山の中を駆け回っていました。リーダーシップを発揮しながら後輩を気遣う3年生、3年生と1年生の間

をつなぐ2年生、必死に先輩についていこうと努力する1年生、ゴールした時には学年の垣根を越えて仲が深まっていました。

大いに盛り上がるなど充実した4泊5日となりました。

クラブクローズアップ

が陸上強化選手に
 11月3日に枚方市立陸上競技場で行われた「五市(交野・門真・四條畷・大東・守口)中体連陸上大会」男子200mに出場した陸上競技部の野田陸人君(2年SH組)が23秒35の大会新記録を出し、大阪の強化選手に選ばれました。1月には、和歌山県の紀三井寺運動公園陸上競技場で行われた「2018年日本陸上競技連盟U-16ジュニア研修合宿(近畿ブロック)」に参加し、強くなるためのヒントをたくさん見つけてきたようです。野田君は「全国大会出場を目指します」と意気込んでいます。応援よろしくお願いします。

が史上最年少で受賞
 2年B組)が小学校6年生の時に考案したカードゲーム「食べ残しNOゲーム」が史上最年少で第12回キッズデザイン賞(NPO法人・キッズデザイン協議会主催)の「キッズデザイン協議会会長賞」を受賞しました。カードゲーム開発のきっかけは、小学校6年生の夏に参加したフリースクールで「社会問題を解決する商品やサービスを考える」という課題に取り組んだことでした。そこから自身で出資者を募集するなどして、1年9月かけて商品化。2018年9月に発売され、現在は学校の授業や企業の研修などでも使われています。受賞は2018年11月29日発行の「毎日小学生新聞」の一面に取り上げられました。

が中学生書道ベスト100
 (1年B組)と...人(3年D組)が、第13回全日本小学生・中学生書道紙上演で「学年別ベスト100」に選ばれました。

電車で巡る 大阪の名所 1年生地下鉄オリエンテーリング
 2月8日、1年生は楽しみにしていた地下鉄オリエンテーリングを行いました。大阪市内の指定されたポイントを、大阪メトロの一日乗車券を使って巡り、合計得点を競います。各ポイントには決められた点数があり、いかに効率良く巡るかを各班で知恵を絞って当日の計画を立てました。当日は、体調不良の欠席者が何人かいましたが、参加した生徒たちは何度も乗り換えながら史跡や名所を写真に収めて帰ってきました。



自分たちで作った修学旅行 6年一貫コース3年生 シンガポール修学旅行
 2月6日から9日までの4日間、シンガポールの4日間、シンガポールへ修学旅行に行きました。修学旅行は生徒が主体となり、企画、運営、準備、実行、振り返りなど、自分たちで作りました。自分たちで作った修学旅行は大満足でした。

新成人の卒業生が集合 母校で成人を祝おう会

1月14日の成人の日に、「第9回母校で成人を祝おう会」を行いました。第67回卒業生126人が晴れ着姿で集まり、恩師や旧友たちとの再会を喜んでいました。顔を合わすとすぐに中学時代に帰ったかのように思い出話を花を咲かせ、中学時代の写真を集めた動画を見たり、ビンゴゲームをするなど、楽しいひとときを過ごしていました。中学校を卒業して5年。立派に成長した姿には感慨深いものがありました。後日、幹事の元に「お手伝いをするので、もっと同窓会を開いて欲しい」と連絡があったそうです。この会を機に、友人との絆をさらに深めていってほしいと思います。



自分プロジェクトの集大成 6年一貫コース3年生 研究論文発表会
 研究論文発表会を1月31日と2月2日に行いました。この発表会は中学3年間の「自分プロジェクト」の集大成です。生徒たちは自ら決めたテーマを模索し、課題解決に向けて、実験やインタビュー、施設見学など様々な方法で結論を導き出しました。発表会当日は、一人ひとりが調べた内容を発表し、質疑応答に一生懸命答える姿が印象的でした。



2019年度 入試説明会日程

● 6月29日(土) 14:00	入学説明会(全学年対象)	● 4月27日(土) 10:00	第1回オープンスクール
● 6月 5日(水) 10:50	入学説明会(6年対象)※	● 6月15日(土) 14:00	第2回オープンスクール
● 9月 9日(月) 10:50	入学説明会(3年対象)※	● 8月31日(土) 14:00	第1回入試説明会(体験授業)
● 9月10日(火) 10:50	入学説明会(5年対象)※	● 10月12日(土) 14:00	第2回入試説明会(プレテスト①)
● 9月11日(水) 10:50	入学説明会(4年対象)※	● 11月 9日(土) 14:00	第3回入試説明会(プレテスト②)
※ 参観後、学園小で開催		● 12月 7日(土) 14:00	第4回入試説明会(入試対策会)

地域のイベントに協力 吹奏楽部・バトン部

吹奏楽部とバトン部は毎年、様々な地域のイベントに協力しています。その一部を紹介します。

吹奏楽部は「四條畷市福祉人材フェスティバル」「天の川まつり」「介護の日フェスティバル」「大東市スマイルイミネーション」「大東市成人式」などで生演奏をして、イベントを盛り上げました。また、高齢者の施設を訪問した時には「美空ひばりメロレー」などを演奏して楽しんでいただきます。

バトン部は「大東市交通安全週間イベント」「四條畷市交通安全安全キャンペーン」「ピバモール寝屋川クリスマスフェスタ」などで、華やかで力強い演技を披露しています。



マーチングの全国大会で入賞！ 吹奏楽部

12月16日、さいたま市という大接戦の大会でしーパリアーナで開催された。148人の部員は、れた「第46回マーチング」これまでの練習の成果をバンド全国大会に、吹奏楽部が9年連続出場を果たし、出場34チームの奏楽部が9年連続出場を果たし、出場34チームの事「銀賞」を獲得しました。金賞のチームとの差はわずか0.13ポイント「優秀賞」と、上位4団体



心肺蘇生法とAEDの使い方体験学習 2年生

倒れている人の命を救うために「何をすべきか」を招き、「いざという時、命を救える人になろう」というテーマで、心肺蘇生法とAEDの使い方について学びます。まず、迅速な心臓マッサージとAEDによる心臓除細動がいかに重要か、2年生の3学期に、大阪

を教わりました。クラブ活動中に倒れた高校生の事例紹介があり、「いつ、どこでも、どの年齢にも起こりうる」ということを知りました。そして、AEDを使って模擬人体と呼吸の確認から心臓マッサージ、AEDの使用まで一連の心肺蘇生の流れを体験しました。「人を救うのはAEDではなく、それを使う人です。勇気を持って行動してほしい」という講師の言葉をしっかりと受け止めていました。



オリンピックメダリストの瀬戸大也選手が来校

12月22日、競泳のオリンピックメダリスト、瀬戸大也選手が本校の温水プールで水泳部の指導をしてくださいました。瀬戸選手は中国・杭州で開催された第14回世界短水路選手権(12月11~15日)に出場し、男子200mバタフライで世界新記録を樹立して優勝したばかり。優勝直後の来校だったので、部員たちの驚きと感激は並大抵ではありませんでした。

瀬戸選手の泳ぎを見たり、独自の練習泳法を教わりました。その後、瀬戸選手の200mバタフライと水泳部員8人の自由形リレー対決をしました。最初は、瀬戸選手に大きくリードされましたが、飛び込みができるリレーはやはり有利で、次第に差を縮め、部員たちが先にゴールすることができました。瀬戸選手は「みんな速いよー」と言って盛り上げてくださいました。これには部員たちも大喜びでした。

本校の水泳部は毎年、インターハイに出場し上位入賞を目指しています。部員たちは瀬戸選手に憧れるだけでなく、瀬戸選手に近づぐために努力していこうと決意した日となりました。



水泳部の活動

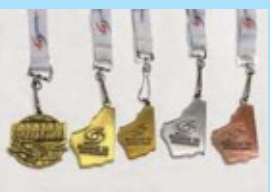
井本君、黒川君が海外でも頑張りました

国際的に活躍できる選手を育てるプログラムに、学園の水泳部員が参加しました。

井本一輝君(3年生)は、日本水泳連盟のジュニア強化選手として、1月にオーストラリアのパスで開催された水泳の大会に出場し、400m自由形、1500m自由形、800mリレーで優勝するなど、5種目でメダルを獲得しました=写真。そして、2月末から約1カ月間、メキシコの高地合宿に参加しました。

また、黒川紫唯君(2年生)は、近畿水泳連盟の推薦を受けて、大阪府代表選手として韓国遠征に参加しました。

井本君、黒川君は日本代表選手をめざして頑張っています。



生徒がメニューを考案

3年生総合コース「商品開発プレゼンテーション決勝大会」11月、総合コース3年生が「商品開発プレゼンテーション決勝大会」を行いました。3回目となる今回のテーマは「イタ分かれ、1カ月半をかけてメニューの考案とリア料理店ピッコロカン

主権者教育講座 卒業前の3年生

の3年生を対象に「主権者教育講座・模擬選挙」を行いました。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることで、高等学校での主権者教育が必要となっています。地歴公民科の授業で主権者としての心構えを学んできましたが、政治への関心や政治参加意識をもっと強く持ってもらいたい。1月30日、卒業前

フォロの新メニューの考案です。このお店は学園北門から徒歩1分のところにある「おいしい」と評判です。シェフ



た。そして、予選を勝ち抜いた各クラス代表チームが決勝大会へ。メニューの内容とプレゼン力の両面から中田シェフが審査。接戦を制したのは1組の「野菜たっぷり！シールド自家製コロパピザ」でした。このピザは2月にお店で提供されました。

3チームが書類審査を通過

「企業インターン」活動として6年一貫コースの4年生が「キャリア甲子園2018」に参加しました。4人が1チームになり、ビジネスアイデアを提案しました。このコンテストは企業が課題を提示し、学生がそれを解決する仕組みになっています。審査は「10年後の高校生」が審査を通過しました。総

セミファイナリスト賞を受賞

第6回高校生ビジネスプラングランプリ 6年一貫コース 第6回高校生ビジネスプラングランプリに6年一貫コースの5年生が10チームに分かれて参加しました。地域や社会に貢献できるプランをチームごとに練り上げました。その結果、過去最多のエントリー数4359件の中からベスト100に4

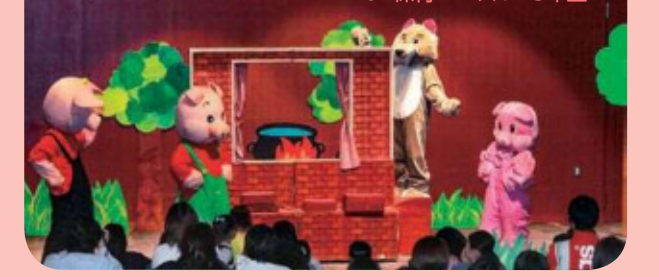


また、四條畷市の地方創生ビジネスコンテスト「みんなの夢AWARD in 四條畷」にも2チームが参加し、市長からお褒めの言葉をいただきました。



エンタリーは903チーム。1校から3チームが通過することは、全国でも珍しいことです。

日頃の練習の成果を発揮



保育コースでは、大学などで身に付ける幼児教育の知識や技術を先取りして学ぶため、学園短大保育学科の先生や保育の現場を経験された先生による授業を行っています。授業は実技も多く、「ピアノ」「手遊び」「ペープサート」「絵本の読み聞かせ」「紙芝居」「人形劇」「リズム体操」「壁面制作」などを学びます。毎年2学期末に行う保育発表会は、学んだことを「見る」体験です。3年生の発表は、3年間頑張ってきたことを下級生に伝える役割も担っています。下級生は3年生の立派な発表を見て、自分たちも「頑張ろう」「来年の発表はもっとレベルを上げよう」という気持ちになり、保育発表会は年々レベルアップしてきました。毎年、保育コース生徒の保護者の方が見に来てくださいますが、今回は高校のオープンスクールと同じ日になったため、幼児教育に関心を持つ中学生も来場。多くのお客さまの前で日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。

子どもたちを思う 心温まるひととき

第9回「なわて保育学講座」

2月16日、恒例の「なわて保育学講座」9回目を開催しました。今回は、短期大学清風学舎6階を会場に、約120人の参加者があつきました。約120人の参加者があつきました。約120人の参加者があつきました。

保育学科



第一部は、本学保育学科専任講師の千田耕太郎先生が、「子どもの歌声と童謡」をテーマに、ピアノ・児童・童謡・伴奏などについて、子どもの歌唱指導についてのヒントをテーマに講演。声帯を意識した歌い方について分かりやすく説明しました。

第二部は、絵本作家で本学客員教授の長谷川義史氏が、「絵本90分一本勝負」のタイトルで、自身の作品「おならまんざい」(小学館)などを読み聞かせました。また、長谷川先生の幼少期の思い出を絵本ライブで面白おかしく話してもらいました。



学生時代にタイムスリップ 第5回「ホームカミングデー」

2014年度から始めた今年、5回目を迎えました。ホームカミングデーは、昨年度から開催日を行っています。

今回の参加者は、卒業後2年～18年の幅広い年齢層の卒業生約20人。「なわて保育学講座」に参加した後、集まった卒業生のほか、ホームカミングデーだけに出席した卒業生もいました。久しぶりに再会した卒業生は、学生時代にタイムスリップ。学生の頃のような活気ある会話や笑い声が絶えませんでした。さらに、昨年に引き続き、サイン会終了後に駆けつけてくださった長谷川義史先生と談笑するなど、楽しいひとときを過ごしていました。

ライフデザイン 総合学科

就職に向けて いざ出陣！ 新2年生



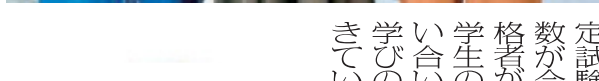
2月7日、北条学舎で新2年生の就職出陣式を行いました。当日は、廣島和夫学長をはじめ、ライフデザイン総合学科の専任教員、キャリア相談室のアドバイザー、事務職員などから励ましの言葉が贈られました。就活スリッパを履いた学生は、失敗をうまく乗り越えたという先生方の体験に基づいたアドバイスや、先輩たちの就活エピソードを耳を傾けていました。

そして、新2年生代表の...

検定の合格実績 急上昇中!



ライフデザイン総合学科は、6つのエリアの様々な学びの成果を形にするべく38の資格・称号が取得できます。特にこの2、3年は難易度が高い事務職も数多く受験する「Word文書処理技能認定試験1級」にも毎年多数が合格しています。合格者が増えていることは、学生の刺激にもなり、競い合いながら学ぶという学びの好環境が生まれてきています。



事務能力認定試験に3人が合格しました。また、ビジネスでは必須の資格「秘書検定」で初の1級合格者がいました。さらに「Word文書処理技能認定試験1級」にも毎年多数が合格しています。

上：秘書検定1級
右：Word文書処理技能認定試験1級

短期大学就職状況

短期大学の内定状況は保育学科100%、ライフデザイン総合学科98.2%です。特に注目すべきは実就職内定率です。全国平均を大きく上回っています。2019年度卒業生はさらに上回る見込みです。また、保育学科から大阪府下の公立保育士合格者が2人います。

卒業生全体からの内定状況

	保育学科	ライフデザイン総合学科	2018年度全国平均
2019年3月	90.4%	85.9%	73.8%
2018年3月	84.0%	83.1%	

※大学編入者数を除く

オープンキャンパス

第1回	5/11	第2回	6/8
第3回	6/16	第4回	7/7
第5回	7/27	第6回	8/3
第7回	8/18	第8回	9/15
第9回	11/17	2020年	3/21



※学校見学会は随時受け付けています。

春の社会人 リフレッシュ 教育講座

四條畷学園短期大学(なわたん)が地域の皆さまに貢献するためのひとつの形として、社会人教育委員会が公開講座「社会人リフレッシュ教育講座」を開いています。今回で第24回を迎え、受講生は延べ600人を超えました。

講座は少ない受講料で、大学の教育や研究に触れることができます。皆さまのご参加をお待ちしています。

特別講演 ●四條畷から世界へ
～谷口智則の絵本作り(講演&ライブペインティング) 無料

講義

- 食生活で健康に～栄養編～
- 人間関係の心理学

体験

- 絵本作家谷口智則が教える絵本作り(ワークショップ)
- プロが指導するおいしいコーヒーの入れ方講座
- 社会人の陶芸
- ワンランク上の写真を残そう 初心者向けフォトレッスン

検定対策

- 色彩検定3級対策講座



お問い合わせ：なわたんエクステンションセンター(電話：072-879-7231)または、ホームページ(<https://sjic-extension.wixsite.com/refresh>)からメールでお願いします。

四條畷学園音楽教室

生徒募集

駅から徒歩1分

随時見学可能!

プレハーモニ
2歳児コース
月3回

音楽と友達になれる時間を親子一緒に過ごしませんか?
期間 6月～翌年3月 *開講回数は目安です。変更される場合があります。
費用 月額 2,500円

幼稚園コース
月4回

音感教育だけでなく、音楽にあわせて身体を動かすリトミックの時間も設けています
内容 ●ソルフェージュ(グループ30分) ●ピアノ(個人30分)
●リトミック(グループ30分)
費用 月額 [学内] 10,500円 [学外] 11,500円

総合コース
小学生以上
月4回

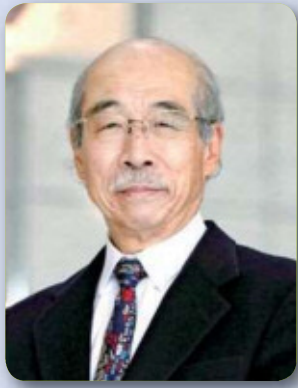
ピアノのレッスンに加えて、ソルフェージュ・合唱を通して音楽を多方面から総合的に学べます
内容 ●ピアノ(個人30分) ●少年少女合唱団(90分×2) ●ソルフェージュ(グループ60分×2)
費用 月額 [学内] 11,000円 [学外] 12,000円
なお、受講内容につきましては柔軟に対応いたしますのでご相談ください。
選択科目 ●声楽 ●ヴァイオリン ●トランペット ●マリンバ ●打楽器(小4～、個人レッスン) *ヴァイオリンは幼児より選択可
費用 選択科目を併せて受講する場合(1科目につき) 月額 [学内] 6,500円 [学外] 7,500円

少年少女合唱団
【幼～高校生】

2006年には、ウィーン少年合唱団を招いて「創立80周年記念演奏会」を開催しました
内容 ●幼稚園：火14:15-15:15、土12:30-13:30
●小・中・高校生：火16:00-18:30、土14:00-16:30
費用 月額 [学内] 7,000円 [学外] 8,000円 *幼稚園コース、総合コース随時開講

他に成人コース、音大受験・保育進学コースなどがあります。詳しくはホームページをご覧ください。
TEL 072-879-2671 FAX 072-800-7774
〒574-0001 大阪府大東市学園町6番45号「四條畷学園音楽教室」(四條畷短期大学内)
<http://www.shijonawate-gakuen.ac.jp/music/>

退任のごあいさつ



大学・短期大学 前学長
廣島 和夫

2007年4月に四條畷学園に赴任いたしました。これまで大阪大学、防衛医科大学校といずれも国立大学の医学部に勤務していたので、赴任当初はしばらくの間、戸惑いました。でも、医療スタッフ養成機関なので比較的早く慣れ、勤務するのが楽しみと感じ始めたころ、学園赴任前に在籍していた障害児医療施設の理事長から悲痛な声で「人材と医療の質の低下で施設が混乱している」と連絡を受けました。当時の川崎博司理事長に懇願し、2009年4月に施設に戻りました。その5年後、施設の運営が落ち着いたタイミングで学園からカムバックの要請があり、2014年4月に復帰いたしました。わずか6年でしたがリハビリ学部・看護学部の教育のお手伝いが出来たことは、小生にとっても非常に楽しく、またやり甲斐のある仕事をさせていただいたと思っております。

その中でもリハビリ学部1回生の「医学概論」の講義が一番の喜びを感じました。というのも、大阪大学医学部の1年目に当時、他の大学医学部では正式に取り上げられていなかった「医学概論」(澤瀉久敬教授)の講義を受けた経験があります。その内容は「医学とは・病気とは・生命とは・健康とは・医療倫理とは」など、まさに大阪大学でしか学ぶことが出来ない素晴らしい講義でした。その時の医学概論の教科書や参考書を引っ張り出して、当時の講義内容や感想などを思い出しながら学園での講義資料を作成したのを覚えております。

2019年3月末、定年退職させていただきますが、学園で思い出深い時間を過ごさせていただき、本当に有難うございました。学園の全ての方々に厚く御礼申し上げますとともに、学園のますますのご発展を祈念いたしております。



看護学部

2015年春、四條畷学園大学に看護学部を開学しました。国家試験受験資格を「看護師」ひとりに絞り、患者・家族・利用者の皆さんの一番近くにおいて寄り添うことのできる、そんな看護師を育てたいと思い、85人の1期生を迎えました。学生たちの成長する姿を楽しみに期待で胸一杯だったことを思い出します。毎春、新しい学生たちとの出会いが美に刺激的で、看護学部の発展を実感してきました。

地域の皆さんに愛され



看護学部の過去・現在・未来

前看護学部長 森 圭子

育まれてきた学園に、見ていくことのできる場で看護学部としていかに根を張ることができるのかを模索しながら、学生と教職員が一緒になって新たな文化を作り上げてきた4年間で、そして3月、看護学部初めての卒業生が巣立っていきましました。卒業生たちの活躍がさらなる学部の発展に繋がると確信しています。大学は、学生自身が創造的に学修を進めていくことができる場です。「知らないこと」に気づき、その自覚が「知る」ための行動に結び付きます。看護学教育の歴史は長く、先輩たちの残してくれた学術的遺産を思う存分、活用しながら学修を進め

看護学部は、豊かな人間性と高い倫理観を兼ね備えて欲しいという思いから「看護師」資格に特化したカリキュラムを構成しました。この背景には、近年増えている看護師のバーンアウト(燃え尽き)があります。そうならないためには4年間、しっかりと「看護学」を学んで欲しいのです。現在、我が国の将来の看護師養



初めての卒業生を送るにあたって

前学科長 安森由美



上田教授が研修会で基調講演

10月28日に本学の作業療法学専攻の上田任克教授が日本作業療法協会主催の作業療法重点課題研修「グローバル活動セミナー」海外で働く、学ぶ、生活する作業療法士が活躍できる海外の選択肢」で、海外の作業療法に興味を持つ作業療法士を対象に基調講演を行いました。上田教授は在外研究員としてアメリカで学んだ経験を基に、アメリカと日本の医療システムや文化的背景の違いの説明を行うとともに、海外の作業療法的手法を日本の文化に合わせて使えるように日本の作業療法士が工夫する必要性についても述べました。本学でも海外研修の授業があり、希望する学生が研修に参加できる機会があります。



リハビリテーション学部 教員総動員で国家試験対策に取り組んでいます

リハビリテーション学部の4年生は10月から翌年2月まで、国家試験合格に向けて勉強に励んでいます。毎日3時間、過去問を参考に教員が作成した問題集を解き、理解を深めながら集中力も養います。また、教員一人が2〜3人の学生を担当し、ほぼ毎日、一人1時間以上の個別授業を行うなど、一人ひとりの学生に合わせた試験対策を考え、フォローします。学生にとって国家試験は非常にプレッシャーのかかる一大イベントですが、これまでに病院実習などを乗り越えてきた若い力で合格に向けて必死に勉強しています。毎年リハビリテーション学部の国家試験合格率は全国平均を上回っており、教員・学生一丸となって国家試験合格を目指しています。

速報!

結果 国家試験

第54回理学療法士・作業療法士国家試験が2月24、25両日に行われました。結果は下記の通りです。

専攻	合格率	受験者数	合格者数	合格率(全国)
理学療法学専攻	97.3%	37名	36名	85.8%
作業療法学専攻	58.6%	29名	17名	71.3%

第108回看護師国家試験が2月17日に行われました。結果は下記の通りです。

学科	合格率	受験者数	合格者数	合格率(全国)
看護学科	96.8%	62名	60名	89.30%

オープンキャンパス

学部紹介、体験授業、在学生との交流、キャンパスツアーなどのイベントを活用して、受験や大学生活の疑問点を解消してください。詳細は大学ホームページでご確認ください。



●学部別オープンキャンパス

5/26 6/16 7/28 8/10 8/25

●授業公開型オープンキャンパス

9/16 ※在学生と一緒に大学の講義を受講します

●入試対策講座&相談会

9/29 12/1

2019年度入試状況

●看護学部			●リハビリテーション学部		
学科	志願者数	入学者数	専攻	志願者数	入学者数
看護学科	439	80	理学療法学専攻	100	41
			作業療法学専攻	61	38

プロフェッショナルを目指して、夢の実現を



●大学・短期大学 学長
木村 友厚

四條畷学園大学、短期大学への入学おめでとうございます。

学校法人四條畷学園は、本年度創立93年目(1926年創立)を迎えます。四條畷学園大学は2005年に開学した若々しい大学であり、2001年に短期大学に学科として開設したりハピリテーション学部と、2015年に創設した看護学部で構成されています。両学部は互いに協力・連携し、急速に進歩し変貌する医療を担う専門職である理学療法士・作業療法士・看護師となる優秀な人材を送り出してきました。そして皆さんが目指すプロフェッショナルの先輩たちは、地域の医療の充実と向

上に大きな貢献をしてきました。

四條畷学園短期大学は1964年に創設され、保育学科では人間性豊かな保育者を育成し、現在は保育士、幼稚園教諭の養成校として、近畿で中核的な役割を果たしています。また、時代の要請を受けて創設したライフデザイン総合学科は、一人ひとりの個性を生かして社会に貢献する人材を輩出しています。

大学・短期大学ともに、入学された皆さんに求められるのは、コミュニケーションと互いへの思いやりと感謝の心を基盤に、能動的に学び、考え、行動することです。知性ととともに専門領域の知恵や知識、技量を修得することは勿論であり、プロフェッショナルになるには厳しい勉強が必要です。さらに生涯を通じて自律的に学ぶ姿勢を身に付けていくことも大

切です。四條畷学園大学・短期大学に入学された皆さんは、優れた能力と大きな可能性を有した存在です。その可能性を現実のものとするために、どうか「報恩感謝」の精神をもって、有意義で充実した学園生活を過ごして下さい。そして皆さんの夢の実現へ踏み出しましょう。

私は本年、この四條畷学園大学・短期大学の学長に就任させていただきました。元来は整形外科医であり、大阪大学医学部や大阪労災病院などを経た後に、富山大学医学部・附属病院で診療・教育・研究に携わってきました。これまでの経験を四條畷学園大学・短期大学のために活かしていきます。本年入学された皆さん、そして在学生の皆さんと一緒に、四條畷学園大学・短期大学の歴史を未来へ繋げていきたいと思ひます。



●高等学校 校長
飯田 英佳

新しい仲間と共に成長を

新入生の皆さん、四條畷学園高校へのご入学おめでとうございます。

自分で考え、自ら行動することが求められる高校生活がスタートします。平成が終わり、5月から新時代の幕が開きます。この記念すべき時に高校生活を始める皆さんには、新たな気持ちで一歩を踏み出して欲しいと思ひます。学園には、勉強やクラブ活動に一生懸

命取り組み、互いに切磋琢磨する先輩がいます。自分の持っている能力を最大限に生かそうと集中して授業に取り組み、講習を積極的に受講する人や将来役立つ資格にチャレンジし、自分を高めようとする人もいます。それぞれの夢を持ち、意欲を持って努力している仲間がいて、多様な個性を持つ生徒が大切にされ共に成長していく。四條畷学園はそんな学校です。

皆さんが一歩前へ進もうとする時、私たちはサポートし応援します。それは、

本校の教育方針が「学習指導や生活指導、そして行事や部活動の体験を通して、一人ひとりが持つ個性を大切に、自分で考え判断し、自主的に行動し、自ら学び、そして品性ある大人として成長するよう皆さんを導くこと」だからです。日々の生活に悩んだり、自分の進む方向や決断に迷ったときは、遠慮なく相談に来て下さい。一緒に考え、新しい仲間と充実した高校生活を送り、共に成長していきましょう。



●中学校 校長
仲尾 信一

「感謝の心」を育ててください

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本学園は幼稚園から大学まで、共通の建学の精神「報恩感謝」のもと教育活動を行っており、その中の四條畷学園中学校で皆さんの中学校生活が始まります。

中学校の3年間で育ててほしいのは「感謝の心」です。何かをしてもらえば「あ

りがとう」と声に出して感謝の心を伝えましょう。そして、頑張ってほしいのは『仲間づくり』です。そのために大切にしてほしいことが2つあります。1つ目はあいさつと返事です。朝は「おはよう」、名前を呼ばれば「はい」と、大きな声で交わし合える学校にしましょう。2つ目は「心の豊かさ」です。困っている仲間がいれば助けてあげることのできる優しさを持ってください。「いじめ」は絶対に許されません。身体、学力、生活など一人ひとりが違って当たり前です。そ

の違いをお互いに認め合い、助け合っていくのが「心の豊かさ」です。悩みをもつ友には相談にのり、誤った道を歩もうとする友には注意ができるなど、常に温かい心が通い合う学校にしましょう。そして、一番大事なことは、生徒同士、生徒と先生が信頼しあって、毎日の学習や学級活動、クラブ活動に打ち込める学校であるということです。「四條畷学園中学校の生徒である」という自覚を持って勉学に励んでほしいと思ひています。

各校園長からの新入学のお祝いの言葉



●小学校 校長
北田 和之

子どもたちの個性を伸ばす教育を

ご入学、ご進級おめでとうございます。本校は、「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」の4点を基本方針とし、自主性、社会性育成に主眼をおいた教育を展開しております。「個性の尊重」は、「子どもが持っている個性を、ほかの子どもと比べることなく大切に考える」ということです。

これができる、あれが得意、これはすぐ上手だけれど、こんなことが苦手など、個性豊かな子どもたちがいる集団だからこそ、子どもたちは影響し合って、どんどんよいところを伸ばしていくのです。私たちは、出来ないことを気にするより、これができるという自信を子どもたちに持たせてあげてを心掛けています。

また、自主性を伸ばすには、個性を生かし自信を持たせる教育、みんなで一緒に考えさせる教育に加えて、子ども自身

の活動を重んじる教育が大切だと考えています。どんなことでも積極的に興味を持って、夢中になってほしい。それが、個性を伸ばす大きな一歩になると考えています。

私たちは子どもたちと触れ合いながら、子どもたちの心を揺り動かす教育をして、学校の好きな子・先生の好きな子・勉強の好きな子に育てたいと考えています。保護者の皆様には、ご支援とご協力をお願い致します。



●幼稚園 園長
前田 泉

「感謝のこころ」で育む子どもたちの成長

ご入園おめでとうございます。四條畷学園大学附属幼稚園での生活が始まりました。私たちは「感謝のこころ」を胸に、お子様の成長に貢献できますよう邁進して参ります。

幼稚園の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うものといえます。この重要な時期に、本園では、幼稚園教育要領

のもと、建学の精神である「報恩感謝」を实践するために、YYプロジェクト(ヨコミネ式教育法)を取り入れ、子どもたちの持つ無限の可能性を伸ばしながら「生きる力」を育みます。

四季折々に変化する飯盛山の自然と充実した教育設備・環境のもとで、経験豊かな教職員がお子様を心身の健康を見守り、ご家庭では体験できない集団生活を通して、成長を見守って参ります。

「おはようございます」の挨拶から始まる幼稚園生活では、様々な場面で、深く

考え判断し、正しく伝える力をつけながら、小学校への円滑な接続を目指します。お子様と保護者の皆様の、今日の笑顔と感動が、いつまでも続きますように祈っております。

そして、新しい環境と関わりながら、ご家庭と幼稚園が「感謝のこころ」の言葉で一つになり、心身の発達につながりますように、これからも幼稚園にご理解とご支援をお願いいたします。



●保育園 園長
中西 邦枝

私たちにお任せください

新入園の保護者の皆さま、このたびはお子様を四條畷学園保育園に入園され、心より喜び申し上げます。

また、数ある保育園の中で当保育園をお選びいただきましたことを深く感謝いたします。

さて、これから保育園での生活が始まります。今までの生活とは異なり、多くの友だちや、先生たちとの生活です。新

しい環境なかで、保護者の方やお子様たちも不安に感じられることもあると思ひますが、心配はいりません。当保育園の教職員は保育・教育において経験豊かで、お子様や保護者の方の不安を取り除けるよう精一杯努力して行く所存です。

当保育園は保育施設であるとともに、教育施設であることも重視しております。自由保育と設定保育を組み合わせた保育・教育を实践しています。学園幼稚園と同様、ヨコミネ式保育法で、体の力、学ぶ力、心の力をしっかりと育みます。

お子様が卒園する時には立派に成長されていることと思ひます。

ご意見、ご要望がありましたらいつでも私たちにお伝えください。これから、しっかりとお子様を預らせていただきます。どうぞ安心して私たちにお任せください。

保育園の詳細は右のQRコードからホームページをご覧ください。

